

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度							
事務事業名	かすみがうらマラソン大会開催事業（政策）						事業類型	負担金
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令 かすみがうら市事業費助成型補助金等交付要綱
			10	05	01	03	政策経費	
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	共催
	1 生涯学習						担当課係等	スポーツ振興課
⑤スポーツ・レクリエーション活動の推進								スポーツ振興担当
事業期間	継続（ 年度～ ）							

現状把握の部 (D0)

【目的】 大会の開催を通じ、地域住民と参加者との交流・親睦、参加者の健康増進、生涯スポーツの普及振興を図るとともに、「霞ヶ浦」の水質浄化を中心とした環境問題の意識の啓発及び福祉の充実を図る。	【関連事業】 市民ふれあいスポーツ推進事業 スポーツ団体育成事業
【期待される効果】 地域住民の環境問題や福祉への意識の高揚を図るとともに、交流人口の拡大に資する。	【対象者】 大会関係者 市民 マラソン参加者
【全体概要】 土浦市との共催事業として大会を運営する。 本大会は、日本陸上競技連盟公認競技会であるとともに、国際視覚障害者スポーツ協会公認大会ともなっており、正式名称を「かすみがうらマラソン兼国際ブラインドマラソンかすみがうら大会」としている。	【特記事項】 【負担金】 かすみがうら市 3,000,000円、土浦市13,000,000円
【令和 2年度 事業内容】 実行委員会へ補助金を交付するとともに、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けた調整・準備を実施。 【令和 2年度 中止】	【令和 3年度 事業内容】 実行委員会へ補助金を交付するとともに、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けた調整・準備を実施。 【令和 3年度 中止】
【令和 4年度 事業内容】 実行委員会へ補助金を交付するとともに、実行委員会事務局として土浦市と共同で大会開催に向けた調整・準備を実施。	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	3,750	0	0
歳入計（千円）		3,750	0	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	18 負担金、補助及び交付金	3,750	0	0
歳出計（千円）（A）		3,750	0	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 予
職員人工数		0.70	0.45	0.00
職員人件費（B）		5,448	3,502	0
総事業費（A）＋（B）		9,198	3,502	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	エントリー者数	人	目標	25,000.00	18,300.00	23,500.00
	フル⇒12,000人 10マイル⇒5,000人 5キロ⇒1,000人 ウォーキング⇒300人		実績	20,558.00	17,181.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	参加者数（過去2年分の平均参加率75%を目標）	人	目標	20,000.00	13,800.00	18,000.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 スポーツ活動を通じた市民の交流を図るイベントとして、政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 土浦市との共催イベントとして、官民が一体となり、霞ヶ浦の水質浄化とノーマライゼーションの実践を目的とした営利ではない部分の取組みが多い事業として妥当といえる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 令和3年度は新型コロナウイルス感染症の拡大の影響により中止となったが、今後は感染対策を徹底しウィズコロナの大会として実践していく意味で、今後の成果向上の余地はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 霞ヶ浦の浄化啓発やノーマライゼーション推進、さらには市民のボランティア意識の向上に対し影響を及ぼすほか、イベントの中止は市民の意識高揚につながらない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 交流・関係人口の拡大を目的として、既に観光課等と連携している。また、参加者も多く大会規模も大きな2市共催イベントとして、類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 実行委員会の補助を予算のメインとしているが、実質は土浦市と本市の担当部署の職員が事務局を担っており、現段階以上のコスト削減は厳しいと考える。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 選手、スタッフ、ボランティアとして多くの市民が関わり、市民と行政が一体となって行う取り組みであることから、一部の受益者に偏っているものではない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	フルマラソンコースの3分の2を担当する本市としては、引き続き給水所の準備や交通規制箇所の整理を行うとともに、ウィズコロナの大会として感染症対策を徹底し、全国から集まる参加者が安心・安全に参加できるよう、今後も官民が一体となり事業に取り組んでいく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：由波 大樹 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 本大会においては、アフターコロナを見据えたマラソンによる新しい社会づくりと位置づけ、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策を十分に講じながら、土浦市をはじめとする地域ボランティアや関係機関等と連携し、全国から集まるランナーの皆様が、かすみがうら市内を安全・安心に走れるよう環境整備に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：坂本 重男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持）		
担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 引き続き関係機関等と連携し、大会が安全・安心に実施できるよう取り組んでいく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	市民ふれあいスポーツ推進事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	スポーツ基本法
			10	05	01	05	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	市民の関与	
	1 生涯学習						担当課係等	スポーツ振興課	
⑤スポーツ・レクリエーション活動の推進								スポーツ振興担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 子供から高齢者までスポーツレクリエーション活動の場を提供し、誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくりを行うとともに、市民の体力・健康づくりに資する。	【関連事業】 市民マラソン大会 開催事業 スポーツ団体育成事業
【期待される効果】 誰もが生涯にわたってスポーツを楽しめる環境づくりを行い、市民が身体を動かすことを心から楽しみ、健康で豊かな地域づくりが図れる。	【対象者】 市民
【全体概要】 スポーツに関する各種教室やイベントの開催、スポーツレクリエーション活動機会の提供、小中学校施設の夜間開放によるスポーツ活動の推進。	【特記事項】 スポーツイベントやスポーツ教室を開催し、市民がスポーツやレクリエーションに参加する機会を提供する
【令和 2年度 事業内容】 ○各種スポーツ教室、スポーツ大会、スポーツイベントの開催 ○総合型地域スポーツクラブ等との連携によるスポーツ・レクリエーション活動機会の提供 ○小中学校の体育館・グラウンドの開放	【令和 3年度 事業内容】 ○各種スポーツ教室、スポーツ大会、スポーツイベントの開催 ○総合型地域スポーツクラブ等との連携によるスポーツ・レクリエーション活動機会の提供 ○小中学校の体育館・グラウンドの開放
【令和 4年度 事業内容】	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	407	531	0
歳入計（千円）		407	531	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	07 報償費	10	20	0
	10 需用費	10	57	0
	11 役務費	5	4	0
	12 委託料	250	450	0
	17 備品購入費	132	0	0
歳出計（千円）（A）	407	531	0	
（参考）	当初予算額	2,780	当初予算額	2,718
職員人工数	0.80	0.55	伸び率(%)	決 皆減 予 皆減
職員人件費（B）	6,226	4,281	0	0.00
総事業費（A）＋（B）	6,633	4,812	0	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	市民ふれあいスポーツフェア・教室等大会開催延べ回数	回	目標	15.00	12.00	0.00
	市主催の大会やスポーツフェア、市民マラソンの開催回数		実績	2.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	市民ふれあいスポーツフェア参加者数	人	目標	2,500.00	1,800.00	0.00
	参加人数		実績	0.00	0.00	0.00
	市民マラソン大会参加者数	人	目標	1,100.00	900.00	0.00
	参加人数		実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 各種の取組みは、誰もが気軽にスポーツに親しむ環境づくりに資するもので、政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の健康寿命延伸のため、多くの方が参加できるようなスポーツ機会を提供する取組みであり、妥当といえる。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 新型コロナウイルス感染症の拡大に伴いイベントが中止となったが、今後は感染症対策を徹底し、ウィズコロナのスポーツイベントを実践していくという意味で、今後の成果向上余地はある。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 スポーツ機会の低下は、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであることから、廃止はありえない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 生涯学習はもちろん、福祉、保健、観光部署において同様の講座等を実施する場合があるため、庁内連携を密にすることで、事業の相乗効果はあると考える。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 イベントの開催においても、既にスポーツ協会をはじめとして市民団体の協力を大いに受けており、現段階以上のコスト・人件費の削減は困難と考える。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 生涯スポーツを基本として、開催にあたっては常に多くの方へ参加を呼びかけており、一部の受益者に偏ったものはない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	総合型スポーツクラブなどの市民団体との連携を密にするとともに、市民のニーズを把握し、より多様な事業を展開していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：由波 大樹 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 円滑な事業の推進を図るとともに、スポーツ協会及びスポーツ推進委員との連携や市民ニーズ等を踏まえ、スポーツを通じた地域住民間の交流の促進と市民の体力づくりや健康づくりの推進に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：坂本 重男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 市民ニーズの把握に努め、市民の体力・健康づくりに資する事業を展開していく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度								
事務事業名	スポーツ団体育成事業（政策）						事業類型	イベント・行事・各種講座教室等	
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令	スポーツ基本法
			10	05	01	07	政策経費		
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり						総合計画対象	対象	
	(2) 生涯学習の充実						市民協働	共催	
	1 生涯学習						担当課係等	スポーツ振興課	
⑦スポーツ・レクリエーション団体の育成								スポーツ振興担当	
事業期間	継続（ 年度～ ）								

現状把握の部 (D0)

【目的】 スポーツを通し市民のからだを心豊かに育てるため、市民に対し実技指導やその他スポーツに関する指導助言を行うなど、その役割を担う生涯スポーツ関係団体の育成や支援を行い、地域スポーツの活性化に資する。	【関連事業】 市民ふれあいスポーツ推進事業
【期待される効果】 気軽にスポーツに親しむ機会の増加により、市民が心身ともに健康で心豊かな地域が醸成される。	【対象者】 体育協会 スポーツ少年団
【全体概要】 体育協会加盟団体による市長杯大会及び各種大会の開催、各事業への協力及びスポーツ少年団の健全育成の支援、新たな競技種目の発展と市民スポーツ活動の機会向上のための取組み。	【特記事項】
【令和 2年度 事業内容】 ○スポーツ協会及び協会を通じたスポーツ少年団への支援。 ○霞ヶ浦を活用した水辺のアクティビティ事業の開催	【令和 3年度 事業内容】 ○スポーツ協会及び協会を通じたスポーツ少年団への支援。 ○霞ヶ浦を活用した水辺のアクティビティ事業の開催
【令和 4年度 事業内容】	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	2,298	2,608	0
	歳入計（千円）	2,298	2,608	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	242	324	0
	18 負担金、補助及び交付金	2,056	2,284	0
歳出計（千円）（A）	2,298	2,608	0	
（参考）	当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減	
職員人工数	0.75	0.45	0.00	
職員人件費（B）	5,837	3,502	0	
総事業費（A）＋（B）	8,135	6,110	0	

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	少年団（8回）及び体育協会（6回）による市長杯大会開催数	回	目標	14.00	14.00	0.00
			実績	8.00	10.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	少年団及び体育協会市長杯大会参加者数	人	目標	2,300.00	2,300.00	0.00
			実績	1,693.00	1,252.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部（SEE）

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 青少年の健全育成を図るスポーツ少年団やスポーツの推進を図るスポーツ協会をはじめとした各種団体への支援を行っており、政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民がスポーツ活動を積極的に取組むための支援であることから妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 霞ヶ浦を活用した水辺のアクティビティの活性化を目指す点で、今後も向上の余地があると考えられる。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 スポーツに親しむ機会の低下は、市民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営む上で不可欠なものであることから、廃止はありえない。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 スポーツ団体の育成という点で、現在、類似事業はない。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。（仕様や工法の適正化、市民の協力など）	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 各種団体による大会等の開催においては、参加チームからも参加費を徴収し運営しており、事業費の削減余地はない。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 誰でもスポーツに親しめる環境づくりの一環として活動している団体の支援事業であり、一部の受益者に偏ってはいない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	今後も団体の活動に対し支援することで、市民がスポーツに親しみやすい環境づくりを目指していく。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：由波 大樹 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 生涯スポーツの普及振興と市民の融和及び親睦を図るとともに、青少年の健全育成をサポートするため、スポーツ協会及びスポーツ少年団等の活動支援を継続的に行い、市内スポーツ人口の増加や団体の自主活動の活性化に努める。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：坂本 重男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 引き続き関係団体の活動を支援していく。		

事務事業評価シート

計画対象年度	令和 3年度						
事務事業名	体育センター管理運営事業（政策）					事業類型	管理・運営
予算科目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分 政策経費
			10	05	02	07	
総合計画体系	6. 豊かな学びと創造のまちづくり					総合計画対象	対象
	(2) 生涯学習の充実					市民協働	市民の関与
	1 生涯学習					担当課係等	スポーツ振興課
⑥スポーツ・レクリエーション施設の利用促進							施設維持管理担当
事業期間	継続（ 年度～ ）						

現状把握の部 (D0)

【目的】 市民がスポーツに親しめる環境づくりを目的として、体育センター改修を計画するとともに、隣接する旧保健センターを活用した一体的なスポーツ施設の整備を進める。	【関連事業】 体育センター管理運営事業	
【期待される効果】 スポーツ施設の効果的かつ効率的な活用を促進し、様々なスポーツに対応する施設として整備することで、市民（利用者）のスポーツに親しむ環境の充実を図る。	【対象者】 市民	
【全体概要】 旧保健センター・体育センターリニューアル活用調査を実施するとともに、市民（利用者）のニーズを十分に把握したうえで、今後の方向性を明確化する。	【特記事項】 方向性を明確化したのち、整備計画を進めることとする。	
【令和 2年度 事業内容】	【令和 3年度 事業内容】	【令和 4年度 事業内容】
	旧保健センター・体育センターリニューアル活用調査の実施	

■事業費

		R02年度	R03年度	R04年度
財源	国庫支出金	0	0	0
	県支出金	0	0	0
	一般財源・その他	0	3,498	0
歳入計（千円）		0	3,498	0
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）	金額（千円）
	12 委託料	0	3,498	0
歳出計（千円）（A）		0	3,498	0
（参考）		当初予算額	当初予算額	伸び率(%) 決 皆減 予 皆減
職員人工数		0.00	0.10	0.00
職員人件費（B）		0	779	0
総事業費（A）＋（B）		0	4,277	0

■指標

種類	指標名	単位		R02年度	R03年度	R04年度
活動指標	施設活用調査等	式	目標	0.00	1.00	0.00
	R3 活用調査の実施		実績	0.00	1.00	0.00
	R4 今後の活用方針の明確化		目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果指標	施設活用方向性の明確化	式	目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

評価の部 (SEE)

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 事業の目的が当市の政策体系に結びつくか。	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 スポーツ施設の効果的かつ効率的な活用を促進し、様々なスポーツに対応する施設として整備することで、市民のスポーツに親しむ環境の充実を図ることとしており、政策体系に結びついている。
	②行政関与の妥当性 この事業を市が行う理由は。税金を投入して事業を行うことが妥当か。	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市の社会体育施設の充実を目的として整備するものであり、妥当である。
有効性評価	③成果の向上余地 成果を向上させる余地があるか。成果が上がらない理由はあるか。	<input type="checkbox"/> 余地がない <input checked="" type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 活用の方向性の明確化をしたのちの話となるが、向上の余地はあると考える。
	④廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合の市民への影響の有無とその内容は。	<input checked="" type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 【理由】 市の社会体育施設の充実を目的としており、廃止した場合は市民への影響がある。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 類似事業との統廃合ができるか。類似事業との連携を図ることにより成果が期待できるか。	<input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる 【理由】 旧保健センターの活用については、スポーツに特化するだけでなく、広く市民の利用しやすい施設とする目的としてスポーツ以外の機能導入検討はありえる。
効率性評価	⑥事業費・人件費の削減余地 成果を低下させずにコストを削減できるか。(仕様や工法の適正化、市民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある 【理由】 現段階で事業費の削減等は不明である。
公平性評価	⑦受益と負担の適正化 事業の内容が一部の受益者に偏っていないか。公平・公正になっているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある 【理由】 市民の利用する社会体育施設の充実を目的とした整備事業のため、偏りはない。

今後の改善方策や方向性

改善方策・方向性	上記評価を踏まえた今後の事業の改善方策・方向性を記入	旧保健センターの活用については、ニュースポーツの利用できる整備検討も進めていたが、今後の活用の明確化にあたっては、利用者のニーズ等を十分に把握して整備につなげていく必要がある。
1次評価（1次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：由波 大樹 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 改革・改善の具体的内容（改革案・実行計画） 体育センターとの一体利用を指標にスポーツ施設としての利活用を検討しているが、他の目的用途としての機能も考慮しつつ、併せて、施設改修の費用対効果においても十分に検討する必要がある。		
2次評価（2次評価者として判断した今後の事務事業の方法性（改革・改善策）） 記入者：坂本 重男 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続（ <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持） 担当部長としての意見・考え方（1次評価者と同じ場合も記入） 事業の実施にあたっては、改修施設の費用対効果を十分に検討して対応する。		